



平成29年度 横浜市立宮谷小学校 学校だより 7月号

# みやがや

## ＜学校教育目標＞

響き合う豊かな学びの中で自分を見つめ互いに思いやる子を育てます

【知】 学び合う楽しさを知り、問題解決に向け主体的に取り組む子を育てます。【学び合い】

【徳】 社会や学校のきまりを守り、やさしく思いやりのある子を育てます。【思い合い】

【体】 お互いの生命と体を大切にし、生涯を通してよりよく健康な生活ができる子を育てます。【気づき合い】

【公・関】さまざまな人々と豊かなかかわり合いを大切にしながら、わたしたちのまちに誇りをもって生活する子を育てます。

【かかわり合い】

## 持続可能な開発

学校長 奈良輪 孝雄

2015年9月25日に国連総会で「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択されました。その前文には、「このアジェンダは、人間、地球及び繁栄のための行動計画である。」と書かれ、17の持続可能な開発のための目標を示しました。子どもたちが社会人となっている2030年はどのような時代になっているのでしょうか。将来の予測が難しい社会ですが、ここに示された17の目標は実現していかなくてはならない課題であると考えます。



横浜市では、「国際平和のために、自分がやりたいこと」というテーマで「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」を実施しています。本校でも6年生全員が、具体的な経験・体験をもとに、具体的な夢や目標を考えました。未来の社会を創る担い手となる子どもたちが、平和について考

え、実践してくれることは大きな喜びです。6月12日に各学級の代表者5名が校内スピーチコンテストで実に堂々と自分の意見を発表してくれました。深く考えた主張も立派でしたが、ステージ上で堂々と表現する力も素晴らしかったです。審査の結果学校代表は間宮春佳さんとなりました。「みんなちがってみんないい」というタイトルで、海外生活の経験から様々な国の人と接することが当たり前である感覚と、外見の差異を差別してしまう自分の弱さを表現し、一人ひとりの個性を理解し合うことの大切さを観衆に訴えました。

「世界を変えるための17の目標」の実現は、世界のリーダーだけが行うものではありません。子どもたちが、真剣に考え、想像し、たとえ小さなことであっても自分のできることを実践することが重要です。世界の現状に目を向けるグローバルな視点と共に、自分の手の届く家族・友達・学校・地域に対する思いやりの心を大切にして欲しいと思います。無限の可能性のある宮谷小の子どもたちが、今できることを実践し、さらに学び・考える続けることで、思い描く素晴らしい未来を実現してもらいたいと願っています。

